

2020 年 度

# 地方創生の取組概要

説 明 資 料

【子ども・子育て支援関係分 抜粋】

豊岡市 政策調整部 政策調整課



主要手段 03 いきいきと暮らす女性が増えている

具体的 手 段	03-01	性別に関わらず地域での協働が 進んでいる	2020年度 予算額	8,393 千円
------------	-------	-------------------------	---------------	----------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・継続・拡大)
15	ジェンダーギャップ解消推進	6,827 千円	継続
16	子育て広場管理	196 千円	継続
17	ファミリーサポートセンター	1,370 千円	継続
合計		8,393 千円	

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】

手段	03-01	性別に関わらず地域での協働が進んでいる		
No.15	事業名	ジェンダーギャップ解消推進	2020年度 予算額	6,827 千円 新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 多様性を受け入れ、支え合うリベラルなまちづくりを進めるにあたり、現時点で最大の課題と考えられるジェンダーギャップ（性別に基づき定められた社会的属性、機会等の格差）が解消されている。

《事業目的（趣旨）》

- 家庭、地域等を含めたまち全体のジェンダーギャップの解消に向けた戦略を策定する。2020年4月に、戦略策定委員会を設置し、市民主体で地域に根差した未来志向の戦略案をとりまとめる。  
また、戦略策定過程や進捗状況などを広く発信し、ジェンダーギャップ解消の意義やメリット、多世代、多様な人々の参画の必要性について市民の関心を高める。

1 事業内容

- (1) ジェンダーギャップ解消に向けた戦略策定
  - ア アドバイザーの設置
  - イ 戦略策定委員会の開催 3回（2020年4月～7月）（予定）
  - ウ 戦略策定 2020年9月（予定）
- (2) シンポジウムの実施
  - ア 日程：2020年11月下旬（予定）
  - イ 内容：戦略説明、講演、高校生の提言メッセージなど

**主要手段 03** いきいきと暮らす女性が増えている

2 事業期間

2019 年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

6,827 千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の 1/2）

担当課名【ワークイノベーション推進室】（内線 2094）

手段	03-01	性別に関わらず地域での協働が進んでいる		
No.16 事業名	子育て広場管理	2020 年度 予算額	196 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 小さな子ども安心して遊べる子育て広場がまちの中心部にあり、親子が訪れている。子育ての楽しさを実感する子育て世代と、その様子を温かいまなざしで見守るまちの人々が行き交い、市民の子育て応援の機運が高まっている。

《事業目的（趣旨）》

- 子育て世代による子育て広場の利用促進を図るとともに、住民の手により適切に管理することで、まちの子育て応援の機運を高める。

1 事業内容

各地域の「子育て広場芝生化実行委員会」の協力により、豊岡地域を除く 5 か所の子育て広場の除草、施肥等の維持管理を行う。

また、別事業である「子育て女性活動団体へのイベント開催経費補助事業」の開催指定場所にするなど、子育て世代の活用を促進する。

2 事業期間

2017 年度～

（ハード整備は 2017～2018 年度）

3 事業主体

豊岡市



たけの子育て広場で遊ぶ親子

主要手段 03 いきいきと暮らす女性が増えている

4 予算額（補助率・負担率等）

196 千円（ひょうご地域創生交付金 補助率：交付対象額の 1/2）

担当課名【健康増進課】（内線 3101）

手段	03-01	性別に関わらず地域での協働が進んでいる		
No.17 事業名	ファミリーサポートセンター	2020 年度 予算額	1,370 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 地域で子育て支援を行うことにより、働きながら子育てがしやすい環境をつくる。

《事業目的（趣旨）》

- ファミリーサポートセンターは、仕事の都合などで子どもの送迎や預かりの支援を受けたい保護者（おねがい会員）と、支援を行いたい者（まかせて会員）の会員組織である。  
保育施設等への送迎や一時的な子どもの預かりなどを有償ボランティアの形態で会員同士が相互援助することにより、働きながら子育てがしやすい環境をつくる。

1 事業内容

- (1) 会員同士による相互援助活動を行う。活動を円滑に進めるため専任のアドバイザーを配置し、会員のマッチングを行う。
- (2) 会員募集、会員研修、会員交流事業、会報誌の発行を行う。また、地区回覧等で事業のPRを行うとともに、更なる会員獲得のため、2020 年度も継続して交流事業を実施する。

※2017 年 4 月にセンター設立後、同年 7 月から相互援助活動を開始している。

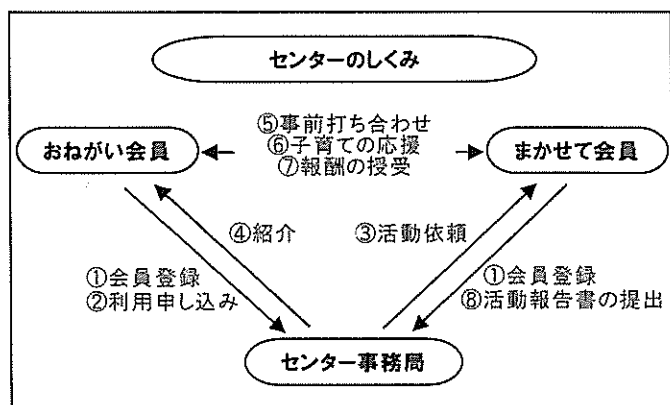
会員数は 224 人（2019 年 12 月 31 日現在）。2018 年度末 178 人。

2 事業期間

2017 年度～

3 事業主体

豊岡市



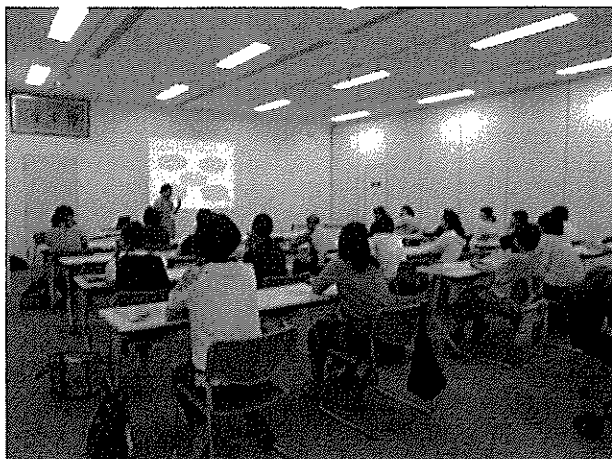
主要手段 03 いきいきと暮らす女性が増えている

4 予算額（補助率・負担率等）

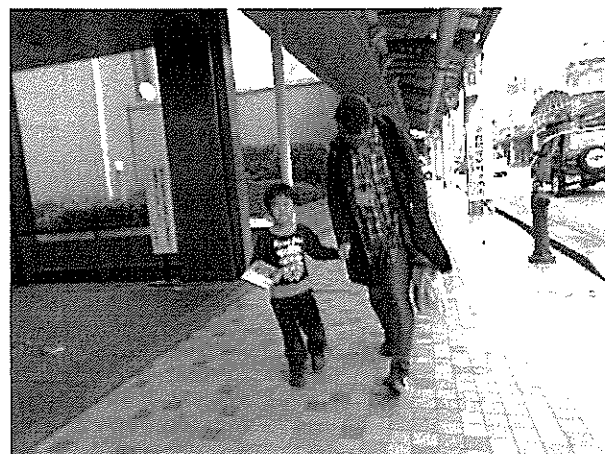
1,370 千円

（国補助率 基準額の 1/3）

（県補助率 基準額の 1/3）



「まかせて会員」講習会の様子



相互援助活動（送迎）の様子

担当課名【こども育成課】（内線 2531）

主要手段 03 いきいきと暮らす女性が増えている

具体的 手段	03-03	ありたい姿に向かっていきいきと働ける機会が増えている	2020年度 予算額	9,598 千円
-----------	-------	----------------------------	---------------	----------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・継続・拡大)
18	ワークイノベーション推進	7,048 千円	継続
19	子育て中の女性の就労促進	2,015 千円	継続
20	子育てママの活躍機会促進	535 千円	継続
合計		9,598 千円	

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】

戦略・手段	03-03	ありたい姿に向かっていきいきと働ける機会が増えている		
No.18 事業名	ワークイノベーション推進	2020年度 予算額	7,048 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- ありたい姿に向かって、いきいきと働く女性が増えている。

《事業目的（趣旨）》

- 女性も働きやすく、働きがいを感じる事業所を増やすことを通じた職場のジェンダーギャップ解消と、これを切り口としたまち全体のジェンダーギャップの解消を目指す。  
そのことを可視化することによって、若い女性のUIターンの増加や定着につなげる。

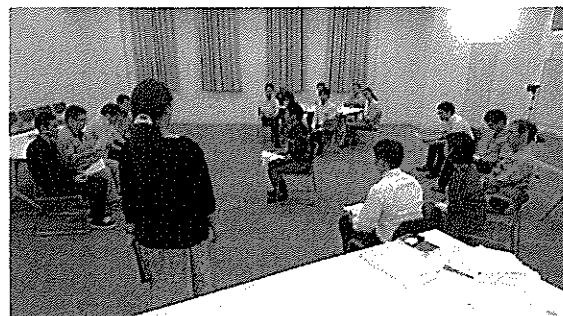
1 事業内容

- (1) 市民の理解拡大  
まち全体のジェンダーギャップ解消に取り組むために、まずは職場を切り口とした事業所の取組み状況などをわかりやすく市民に伝え、理解拡大につなげる。
- (2) 経営者、人事担当者、管理職の意識改革、行動改革  
従業員意識調査、演劇ワークショップ、無意識の偏見セミナーなどを開催する。
- (3) 女性従業員のキャリア形成支援  
演劇ワークショップ、無意識の偏見セミナーなどを開催する。
- (4) 先進事業所の可視化と他の事業所への波及  
女性の働きやすさ、働きがいがある一定水準に達している事業所の表彰審査を行い、表彰式・事例発表会を開催する。

主要手段 03 いきいきと暮らす女性が増えている

2 事業期間  
2018年度～2027年度

3 事業主体  
豊岡市



市内事業所の管理職向け演劇ワークショップの様子(2019.9.27)

4 予算額(補助率・負担率等)  
7,048千円(地方創生推進交付金 補助率:交付対象額の1/2)

担当課名【ワークイノベーション推進室】(内線2094)

戦略・手段	03-03	ありたい姿に向かっていきいきと働ける機会が増えている		
No.19 事業名	子育て中の女性の就労促進	2020年度 予算額	2,015 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像(姿)》

- 子育てをしながら、自分らしくいきいきと働く女性が増えている。

《事業目的(趣旨)》

- 人材不足に悩む市内の事業所に対し、子育て中の女性にとって働きやすい職場環境の整備を促すとともに、働きたいが働けていない子育て中の女性に対しては、少日数・短時間勤務で再就職のハードルを下げ、就労促進を進める。このことにより、働きたい女性の願いを叶え、子育てに関する経済的なハードルを下げるとともに、若い女性に「子育てをしながら、自分らしくいきいきと働く」ロールモデルを示す。

1 事業内容

- (1) 子育て中の女性向けワークショップ  
マネーシミュレーション(今後の教育費増加等を試算)や適職診断などを行いながら、「子育てしながら働く」ということを具体的にイメージし、実行につなげられるようなワークショップを開催する。
- (2) 事業所へのプチ勤務導入促進  
子育て等で時間制約のある方でも働きやすい「プチ勤務」の導入を市内事業所において働き方改革(業務の切り出し、シフトの精査など)しながら進める。  
〈参考〉プチ勤務…1日2・3時間～、週1日～といった、超短時間勤務のこと
- (3) お仕事大相談会の開催  
子育て中の女性とプチ勤務導入事業所のマッチング機会を創出する。



**主要手段 03** いきいきと暮らす女性が増えている

2 事業期間  
2018 年度～2022 年度

3 事業主体  
豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）  
2,015 千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の 1/2）



お仕事大相談会の様子(2019. 10. 21)

担当課名【ワークイノベーション推進室】（内線 2094）

手段	03-03	ありたい姿に向かっていきいきと働ける機会が増えている		
No.20 事業名	子育てママの活躍機会促進	2020 年度 予算額	535 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 子育て中の女性が地域でいきいきと活躍している。

《事業目的（趣旨）》

- 子育て中のママの「役割」や「活躍の場」を開拓するとともに、市民がいきいきと活動する親子の姿を見ることにより、子育てをポジティブにとらえる意識を醸成する。

1 事業内容

(1) 「ママハタ」の派遣の場を創出

「NPO 法人ママの働き方応援隊(通称：ママハタ)」と連携して、学校や地区で「赤ちゃん先生クラス」を開催する。

また、地域や企業への認知や理解を進めるため、市内のイベントなどにスタッフとして派遣する。

(2) 子育て女性活動団体へ、イベントの開催経費を補助

子育て中の女性で構成する活動団体が、子育て世代ならだれでも参加できるイベントを開催する際、その経費の一部を補助し、まちを挙げた子育て応援の機運を高める。

<補助内容> 上限 50 千円/件、補助率 10/10

2 事業期間

- (1) 「ママハタ」の派遣 2018 年度～
- (2) イベント開催経費の補助 2019 年度～

主要手段 03 いきいきと暮らす女性が増えている

3 事業主体

豊岡市

4 予算額

535 千円

(地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の 1/2)



ママハタの派遣事業



「ハグハグフェスタ豊岡」

担当課名【健康増進課】（内線 3101）

主要手段 05 子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている

具体的 手段	05-01	子どもたちが豊岡のことをよく 知っている	2020年度 予算額	13,116 千円
-----------	-------	-------------------------	---------------	-----------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・継続・拡大)
39	ふるさと教育推進	3,716 千円	継続
40	子どもの野生復帰	9,000 千円	継続
41	おっとりっしゃ！とよおかのものづくり	400 千円	継続
重複	(No.42) 高校生コミュニケーション教育等 支援	(8,716 千円)	継続
合計		13,116 千円	

※重複の予算額は除く

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】 -----

手段	05-01	子どもたちが豊岡のことをよく知っている			
No.39	事業名	ふるさと教育推進	2020年度 予算額	3,716 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- ふるさと豊岡と未来の自分について考え、行動できる力を身につけた子どもたちが、ふるさとに愛着と誇りを持ちながら豊岡で夢を実現することや、豊岡に軸足を置き世界規模で物事を考えられている。

《事業目的（趣旨）》

- 一人一人の子どもの夢実現力を高め、小さな世界都市を目指す豊岡の未来を創造する子どもを育成する。このため、系統性と一貫性のあるカリキュラムで実践する「ローカル&グローバル学習の時間」において、「コウノトリ」「ジオパーク」「産業・文化」を共通の学習テーマに位置づけ、豊岡の「ひと・もの・こと」に学び、ふるさと豊岡を自分の言葉で語り誇れる力を育成する。

1 事業内容

- (1) 現地に出向いたり、地域の人とかかわったりして、体験的な活動を行い、豊岡の「ひと・もの・こと」を学習素材とした探究的な学習に取り組む。
- (2) 教育委員会、コウノトリ共生部、環境経済部が協働して作成した「ふるさと学習ガイドブック」、DVD「豊岡ふるさと学習、山陰海岸ジオパーク」、「コウノトリと共に生きる」等の映像資料の効果的な活用について実践を積み重ねる。

**主要手段 05** 子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている

(3) 但東中学校3年生が、修学旅行で東京交通会館において、豊岡市や但東町についてPRする。

2 事業期間  
2017年度～

3 事業主体  
豊岡市



4 予算額（補助率・負担率等）  
3,716千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の1/2）  
（ふるさと納税：1,000千円）

担当課名【こども教育課】（内線 2721）

手段	05-01	子どもたちが豊岡のことをよく知っている		
No.40 事業名	子どもの野生復帰	2020年度 予算額	9,000 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

○ 子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている。

《事業目的（趣旨）》

○ 自然体験によって醸成される心身の鍛錬・躍動、磨かれる感性、地域への愛着、共生の精神をより深め、地域の自然・文化・伝統を学ぶ、豊岡のフィールドでの野外体験プログラムを実施し、ふるさと豊岡を愛し、夢の実現に向け挑戦する子どもたちを育成する。

1 事業内容

「キッズワイルド2020」の実施

(1) 実施プログラム内容

ア 周年型体験プログラム（四季型の通年体験）

イ 単発型体験プログラム（短期集中型の体験）

(2) 対 象

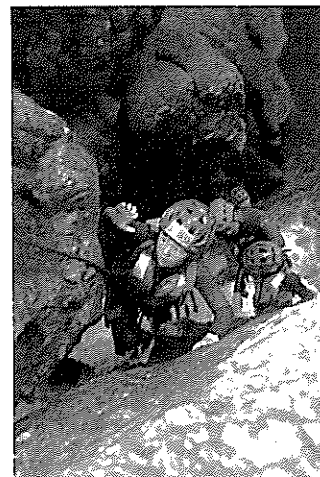
市内の小学生、中学生、高校生

(3) 実施期間

2020年5月から2021年3月まで

2 事業期間

2020年度



3 事業主体  
豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）  
9,000千円（ひょうご地域創生交付金 補助率：交付対象額の1/2）  
（ふるさと納税：5,000千円）

担当課名【生涯学習課】（内線 2741）

手段	05-01	子どもたちが豊岡のことをよく知っている		
No.41 事業名	おっとりっしゃ！とよおかのものづくり	2020年度 予算額	400 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 市内のものづくり企業の優れた技術や成長性などが知られ、若者が地元を誇りを持ち、市内の企業で働きたいと考えている。

《事業目的（趣旨）》

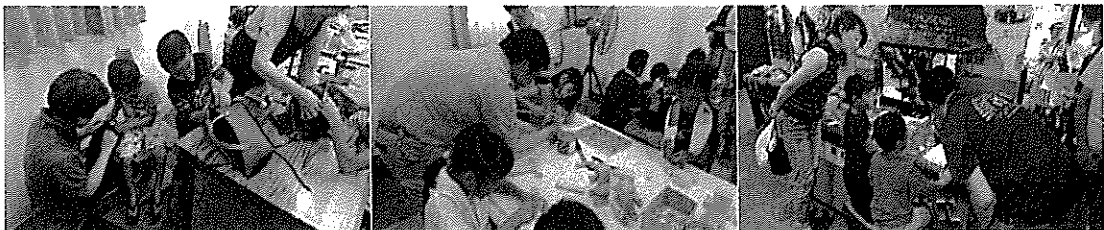
- 子ども対象のものづくり体験等を通じ、ものづくりの楽しさや企業に対する興味を持たせ、将来ものづくりに携わる人材の育成につなげる。また、同行の保護者や一般市民に対して、市内ものづくり企業の優れた技術・成長性などを紹介し、市内企業が若者の働く場所となり得ることに対する市民の理解を促進する。

1 事業内容

豊岡市工業会が開催する「おっとりっしゃ！とよおかのものづくり」に係る事業費について補助を行う。

「おっとりっしゃ！とよおかのものづくり」の開催概要

- (1) 子ども向けのものづくり体験教室
- (2) 市内企業の製品・技術の紹介を行う企業展示
- (3) ものづくりへの興味を持つような特別展示等を含むイベントの開催



2 事業期間

2014年度～

主要手段 05 子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている

3 事業主体  
豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）  
400 千円

担当課名【環境経済課】（内線 2301）

【主要手段 05】 子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている

具体的 手段	05-02	子どもたちが様々なコミュニティの中で役割を果たしている	2020年度 予算額	8,716 千円
-----------	-------	-----------------------------	---------------	----------

【対象事業一覧】

事業No	事業名	予算額	区分(新規・継続・拡大)
42	高校生コミュニケーション教育等支援	8,716 千円	拡大
重複	(No.39) ふるさと教育推進	(3,716 千円)	継続
合計		8,716 千円	

※重複の予算額は除く

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】 -----

手段	05-02	子どもたちが様々なコミュニティの中で役割を果たしている			
No.42	事業名	高校生コミュニケーション教育等支援	2020年度 予算額	8,716 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 豊岡が好きになり、地域をより良くしたいと思う高校生が増えている。

《事業目的（趣旨）》

- 学校内での活動において、豊岡市の演劇を用いたまちづくりや地域資源について知る機会を創出し、豊岡の可能性に気付いてもらう。  
また、学校外においても地域住民と関わりながら地域を活性化する企画に携わることで、当事者意識やシビックプライドを醸成する。

1 事業内容

(1) 学校内での活動支援

ア コミュニケーション教育【新規】

小中学校で実施している演劇的手法を用いたコミュニケーション教育を、高校生を対象として実施する。市内全高校（8校）で実施予定。

イ ダンスを通じた地域探究活動【拡大】

地域探求により感じたことをダンスで表現する。近畿大学附属豊岡高校、大岡学園で実施予定。

ウ 仕事や企業の探求活動

仕事紹介イベントや企業見学を行う。豊岡総合高校、出石高校で実施予定。

エ 課題解決型地域探求活動

地域課題解決に向けた総合学習「未来からの挑戦状」を豊岡高校で実施予定。

(2) 学校外での活動支援

ア 音楽を通じた地域活性化事業【新規】

ミュージシャン・イン・レジデンスの発展事業。高校生がプロデューサーとなり、ミュージシャンの協力を得て豊岡の魅力が詰まった動画コンテンツを作成する。プロのサポートを得ながら、音楽という素材を通じて自分の手で地域を発信する。

イ 高校生によるまちづくり活動促進【新規】

(ア) 菓子祭前日祭の高校生企画の実施

第10回菓子祭前日祭において、高校生の主体的な活動による企画を実施する。

(イ) 高校生キャリア塾等の活動支援

但馬夢テーブル委員会（事務局：兵庫県但馬県民局）が高校生を対象にしたキャリア塾を開催。これからの社会が求める力や知識の習得を目的としてセミナーやワークショップ等を定期的実施（2019年度は7回実施）。

2020年度は上記のうち1回を共催事業と位置づけ、他地域の高校生が実施しているまちづくり事例等を学び、当事者意識を高め、まちづくりへの参画を促す。

2 事業期間

2017年度～2020年度

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

8,716千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の1/2）  
（ふるさと納税：4,000千円）



高校生のコミュニケーション教育（イメージ）  
（東京都内公立高校での実施風景）



ダンスを通じた地域探求活動  
（2019年度近大豊岡校の高校生が永楽館歌舞伎について学び、後日ダンスで表現）

担当課名【環境経済課】（内線 2301）



主要手段 05 子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている

具体的 手段	05-03	子どもたちが様々な人とコミュニケーションを楽しんでいる	2020年度 予算額	49,516 千円
-----------	-------	-----------------------------	---------------	-----------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・継続・拡大)
43	コミュニケーション教育推進	693 千円	継続
44	英語教育推進	38,917 千円	継続
45	豊岡の未来を創る高校生支援	2,660 千円	継続
46	非認知能力向上対策	2,578 千円	継続
47	英語遊び保育推進	4,668 千円	継続
合計		49,516 千円	

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】 -----

手段	05-03	子どもたちが様々な人とコミュニケーションを楽しんでいる			
No.43	事業名	コミュニケーション教育推進	2020年度 予算額	693 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 子どもたちが、国際化社会に対応したグローバルコミュニケーションスキル（異文化理解能力）を獲得し、対等な関係の中での自己主張と他者理解によって様々な人々と積極的に関わっている。

《事業目的（趣旨）》

- 国際化社会に対応したグローバルコミュニケーションスキルの獲得を見据え、性別や年代を超えて、対等な関係の中で自分を主張し、また他者を理解できる基礎的なコミュニケーション能力を育成する。ローカルな町である豊岡でグローバル社会に対応できるコミュニケーション教育を、豊岡にいてからこそ受けることができる特色ある教育として行い、その魅力により若い世代の定住促進・Iターンの増加を図り、地域活性化を推進する。

1 事業内容

- (1) すべての小学校6年生と中学校1年生において、演劇的手法を取り入れたワークショップ型、双方向型のアクティブラーニングを用いて体験的に学ぶ総合的な取組みを行う。

**主要手段 05** 子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている

(2) すべての学年において、コミュニケーション能力の育成の視点を取り入れた関わりを土台にしながら日常生活や学習における指導を行い、コミュニケーション能力の育成を図る。

また、外部講師を招聘し、指導方法等について指導を受け、授業の充実を図る。

**2 事業期間**

2015 年度～

**3 事業主体**

豊岡市

**4 予算額（補助率・負担率等）**

693 千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の 1/2 以内）

担当課名【こども教育課】（内線 2721）

手段	05-03	子どもたちが様々な人とコミュニケーションを楽しんでいる		
No.44 事業名	英語教育推進	2020 年度 予算額	38,917 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

○ ふるさとのこと、自分のことを英語で語ることのできる子どもが育っている。

《事業目的（趣旨）》

○ 豊岡市小中一貫教育の柱の一つとして、小学校 1 年生から外国語指導助手のネイティブな発音に触れる機会を通して、英語遊びから外国語活動、外国語（英語）科へと 9 年間の系統性と連続性のある学習で、英語でふるさとのこと、自分のことを語る力を高める。

**1 事業内容**

- (1) 豊岡市英語教育カリキュラムに基づき、授業における効果的な教材活用の仕方等を交流しながら、より実践的な英語教育を実施する。
- (2) 2020 年度より小学校では新学習指導要領が完全実施され、小学校 5、6 年生は新たに英語が教科になる。そのことによる英語授業数の増加に対応した外国語指導助手（ALT）の配置を行う。
- (3) すべての小学校で外国語指導助手（ALT）とのチーム・ティーチングを実施し、ネイティブな英語に触れさせ、担任と連携した授業等を行う。
- (4) 豊岡市英語教育カリキュラムの見直しと改善を継続して行う。
- (5) 豊岡市立小・中学校教員の授業力の向上を図る研修会を実施する。
  - ア 「英語教育推進リーダー中央研修」に係る地区別研修

**主要手段 05** 子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている

イ 大学と連携した英語指導力向上事業

ウ 豊岡市英語教育研修会

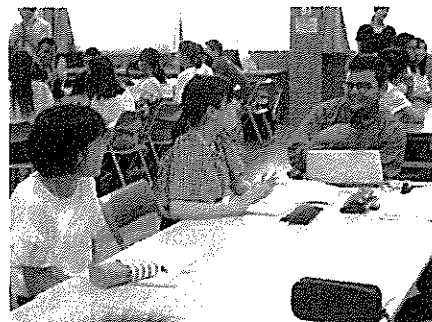
(6) イングリッシュ・サマーキャンプ（対象：中学校3年生）を実施する。

2 事業期間

2016年度～

3 事業主体

豊岡市



4 予算額（補助率・負担率等）

38,917千円

(1) 外国語指導助手派遣業務 19,763円

(2) 上記(1)以外 19,154円

（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の1/2以内）

（ふるさと納税：26,000千円）

担当課名【こども教育課】（内線 2721）

手段	05-03	子どもたちが様々な人とコミュニケーションを楽しんでいる		
No.45 事業名	豊岡の未来を創る高校生支援	2020年度 予算額	2,660 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 小中一貫教育における「ローカル&グローバル学習の時間」（英語教育・コミュニケーション教育・ふるさと教育）を更に発展させた研修を実践することにより、ふるさと豊岡で活躍する人材の育成が育っている。

《事業目的（趣旨）》

- 3週間の語学研修において、授業、課外活動、ホームステイ等の体験を通じた実践英語の習得、日本以外の多くの国籍の参加者との交流を通じたコミュニケーション能力の向上を図り、これらの経験を活かし、ふるさと豊岡で活躍する国際社会に対応できる人材を育成する。

1 事業内容

豊岡市が進める小中一貫教育における「ローカル&グローバル学習の時間」の取組（英語教育・コミュニケーション教育・ふるさと教育）を受け、それを発展させた高校版ローカル&グローバル学習に取り組む高等学校の生徒を対象に、カナダビクトリア市が主催する語学研修への参加費用を補助する。

**主要手段 05** 子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている

2 事業期間

2017年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

2,660千円（ふるさと納税：2,350千円）

担当課名【こども教育課】（内線 2721）

手段	05-03	子どもたちが様々な人とコミュニケーションを楽しんでいる		
No.46 事業名	非認知能力向上対策	2020年度 予算額	2,578 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 「やり抜く力、自制心、協働性」などの非認知能力を高めることで、子どもたちが「自立した大人」へと成長している。

《事業目的（趣旨）》

- 豊岡市としてこれまでから実施している演劇的手法を活用し、小学校低学年の時期から、非認知能力を高めていくことをめざす。

1 事業内容

(1) 非認知能力向上のための演劇ワークショップのプログラムの開発と試行

ア モデル校2校において、平田オリザ氏監修のプログラムにより、小学校1年生～3年生に演劇ワークショップを試行的に実施する。

イ 指導には、専門性を持つ演劇関係者をファシリテーターとして活用する。

(2) 演劇ワークショップの効果測定の実施

ア モデル校2校において演劇ワークショップによる非認知能力向上への効果測定を実施する。

イ 効果測定は、青山学院大学の荻宿俊文教授の研究チームへの受託研究で実施する。

2 事業期間

2019年度～

3 事業主体

豊岡市

主要手段 05 子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている

4 予算額（補助率・負担率等）

2,578 千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の 1/2 以内）

※ガバメントクラウドファンディングの活用を検討予定（目標金額 1,000 千円）



モデル校での演劇ワークショップの様子(2020.1.14)

担当課名【こども教育課】（内線 2721）

手段	05-03	子どもたちが様々な人とコミュニケーションを楽しんでいる			
No.47	事業名	英語遊び保育推進	2020 年度 予算額	4,668 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 外国の言葉や文化に興味を持つ子が増えている
- 喜んで人と関わろうとする子が増えている
- 自己肯定感を持てる子が増えている

《事業目的（趣旨）》

- 将来、「小さな世界都市・豊岡」の子どもたちが世界の人々と積極的にコミュニケーションを図ろうとする気持ちや、外国の言葉や文化に興味を持とうとする気持ちの素地を養う。

1 事業内容

(1) 英語遊び指導員による英語遊び保育巡回訪問の実施

英語遊び指導員が各園を訪問し、歌やゲーム、絵本の読み聞かせなどをすべて英語で行う（オールイングリッシュ）英語遊び指導を実施する。

ア 実施対象 市内全幼稚園・保育園・認定こども園の 4・5 歳児クラス  
（但し、既に取り組まれているなどの一部の園を除く。）

イ 実施回数 年間 15 回程度  
（2 週間に 1 回程度）

ウ 時 間 5 歳児・40 分、4 歳児・30 分

エ 指 導 者 英語遊び指導員 8 名

**主要手段 05** 子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている

- (2) 英語遊び研修会の実施  
幼稚園・保育園・認定こども園職員を対象とした英語遊び研修会を開催する。
- (3) 英語遊び通信の発行  
保護者及び職員向けの英語遊び通信を発行する。

**2 事業期間**

2015～2016 年度 6モデル園で先行実施  
2017 年度～ 市内の公・私立園に展開実施

**3 事業主体**

豊岡市

**4 予算額（補助率・負担率等）**

4,668 千円（ふるさと納税：4,000 千円）



英語を使ったゲームを楽しんでいる様子

担当課名【こども育成課】（内線 2531）

主要手段 06 結婚したいと思う人が結婚できている

具体的手段	06-02	多種多様な出会いの機会が充実している	2020年度 予算額	4,241 千円
-------	-------	--------------------	---------------	----------

【対象事業一覧】

事業No	事業名	予算額	区分(新規・継続・拡大)
49	出会い機会創出 (恋するお見合い)	814 千円	継続
50	出会い機会創出 (はーとピー)	3,427 千円	継続
重複	(No.48) 民間団体への婚活イベント補助	(480 千円)	継続
合計		4,241 千円	

※重複の予算額は除く

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】

手段	06-02	多種多様な出会いの機会が充実している		
No.49 事業名	出会い機会創出 (恋するお見合い)	2020年度 予算額	814 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- まちじゅうに世話やきな人が増え、成婚数が増加している。

《事業目的（趣旨）》

- 2019 年度試験的に行ったお見合いイベントを、2020 年度も実施することにより、成婚数を増加させる。

1 事業内容

女性が男性のプロフィールを見て希望相手を選び、お見合いをする。

(1) 「恋するお見合い」事業の流れ

ア 男女各 36 人を募集

イ 1 週目に男性が来庁、プロフィールを作成し、写真撮影。

ウ 2 週目に女性が来庁、プロフィールを作成し、写真撮影。

女性は男性プロフィールを見て、お見合いしたい相手を選ぶ。

エ 女性の希望をもとにお見合いの組み合わせを決め、後日、縁むすびさんの立ち合いによりお見合い。

(2) 開催回数 2 回

(6 月と 10 月を予定)

主要手段 06 結婚したいと思う人が結婚できている

(3) 開催場所 市役所 立野庁舎内

※2019年度の実績（1回開催）

- 参加人数 男性 47人  
女性 30人  
合計 77人
- お見合い実施数 32組
- “交際”発展組数 21組

2 事業期間

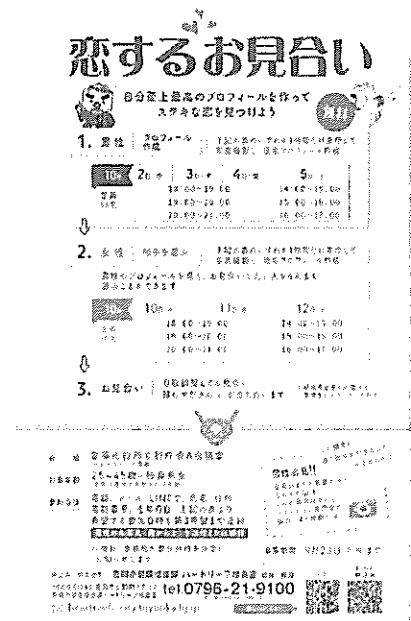
2020年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額

814千円（ひょうご地域創生交付金 補助率：交付対象額の1/2）



担当課名【健康増進課】（内線 3101）

手段	06-02	多種多様な出会いの機会が充実している		
No.50 事業名	出会い機会創出 (はーとピー)	2020年度 予算額	3,427千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 「はーとピー」で出会ったカップルの成婚数が増加している。

《事業目的（趣旨）》

- 婚活応援プロジェクト「はーとピー」（婚活イベント）を開催し、結婚を促進する。

1 事業内容

市の補助により 2013年度から社会福祉協議会で実施し、2019年度から市主催として実施していた婚活応援プロジェクト「はーとピー」を、2020年度も継続して実施する。

また、2019年度からは市に専任の結婚支援員を置いている。希望者に細やかなアフターフォローを行い、成婚数の増加を図る。

(1) 婚活イベント予定開催回数 年間12回

(2) 結婚支援員が行うアフターフォロー

- ア イベントカップルの交際フォロー、相談業務
- イ 「縁むすびさん」と連携したお見合い



**主要手段 06** 結婚したいと思う人が結婚できている

※2019年度（1月時点）：8回開催、参加者210人、47カップル成立  
※2013～2019年度累計：80回開催、参加者2,048人、317カップル成立  
成婚（報告があったもののみ）35組

2 事業期間  
2013年度～

3 事業主体  
豊岡市

4 予算額  
3,427千円（ひょうご地域創生交付金  
補助率：交付対象額の1/2）



市内のカフェで行われた婚活イベント

担当課名【健康増進課】（内線3101）

